

過去最多の「請願」9件 明石市議会はどのように対応したか？

昨年の明石市議会12月議会に提出された請願は、合計9件にのぼった。議会局によると、ここ10数年では最多の請願件数で、おそらく明石市議会では過去最多の請願件数とみられる。

学校の少人数学級推進関係2件、核兵器禁止条約の署名推進関係2件のほか、精神保健医療福祉、再審法改正、工場緑地面積率の緩和、SDGs、長期総合計画に関するものが各1件ずつの内訳だ。

採択された4件の請願とは？

採択された請願は、全会派全議員の賛成で採択された以下の2件。

「教職員の定数改善、少人数学級の推進」（明石市教職員組合、紹介議員＝未来、共産、フォーラム、かがやきの4名）

「精神保健医療福祉の改善」（明石ともしび会と同家族会、紹介議員＝全会派7名）

明石商工会議所が請願人となり、大手工場の要請に応じて工場緑地面積率の緩和を求めた請願（自民党真誠会と公明党の2議員が紹介議員）は共産党の2議員が反対、未来明石の丸谷議員が棄権し、26人の賛成で採択された。

また「環境を重視した持続可能なまちづくりを求める」請願は、市民団体「地球 love 明石」が自民党真誠会と維新を除く全会派の紹介議員を得て提出し、真誠会を除く19議員の賛成で採択された。

自民党真誠会と公明、スマイルが反対し不採択になった5件の請願

これに対して、議員の過半数を占める自民党真誠会10人（議長除く）と公明党6人が反対した5つの請願は不採択になった。このうち次期長期総合計画策定に際して市民参画のプロセス重視を求めた請願は、上記2党派と一人会派のスマイル会以外の党派がすべて賛成し賛否は12対17と拮抗したが、不採択。他の4件は未来と維新も反対して、賛成は6人または5人とどまった。賛成が5人とどまった請願はいずれも核禁条約の署名を求めたもので、フォーラム2人のうち宮坂議員が棄権した。

賛否の「討論」なぜしない？ 「議員間討議」避け続ける市議会

請願の本会議審議（12月22日）で賛否が分かれた7件の請願のうち、6件についてはそれぞれ1名ずつ討論に立ったが、いずれも賛成または反対の討論だけで対立する意見の表明はなかった。工場緑地面積率の緩和を求める請願に反対する共産党が反対討論を行ったが、賛成した26名からはだれも討論に立たなかった。逆に共産党議員だけが紹介議員になり不採択になった4件は、共産党議員が賛成討論に立ったが、反対した23名からはだれも反対討論に立たなかった。

また、賛否が大きく割れた「環境を重視した持続可能なまちづくりを求める」請願には自民党真誠会が反対討論に立ったが、賛成した7党派19名からは誰も賛成討論に立たなかった。賛否が拮抗した市民自治あかしの市民参画の請願は、だれも討論に立たないまま、採決だけで不採択になった。

この日の本会議には、数えたところ16人の傍聴者があったが、それぞれの請願に対して賛否を表明した議員は「なぜ反対なのか？」「反対した議員の主張に対して、なぜ賛成なのか？」が全く分からないまま、市民からの「提案」を数で葬ったことになる。

市民への説明責任に背を向けた姿勢、議会基本条例に反した議員の遵守義務違反

明石市議会は7年前に施行した議会基本条例に「議決責任を深く認識し、議会の議決について、市民に対する説明責任を果たす」（第2条）「議会は、請願及び陳情を市民による政策提案と位置付け、適切かつ誠実に取り扱う」（第5条）と定めている。また「議会が言論の府であること及び合議体であることを認識し、議員相互の自由な討議を重んじ、合意形成に努める」と定めている。

議会を構成する議員の主義主張や考え方は千差万別で、多様な意見を持つ議員が互いに討議を通じて違いを明らかにし、合意形成を図っていくプロセスが「合議体」として本領発揮する議会の存在価値であるはずだが、明石市議会は何故か、条例施行後7年も経っているのに「議員間討議をしない」という申し合わせをしたまま今日に至っている。議員間で意見の相違があっても、それぞれの主張を「言いつばなし」「聴きつばなし」で物事を数で決める運営がまかり通っている。

賛否の意見を討議して合意形成に努めるのではなく、数だけで決める“非合議機関”になっており、その象徴が請願審議に象徴的に表れているわけだ。

採決に「棄権」議員を生む「申し合わせ」の怪

議会が終了すると公表されている「議案の賛否一覧表」には「棄権」と記した態度表明が記されている。傍聴席からは見えにくいですが、本会議に出席はしているがその議案の採決時には議場から退場し、採決を棄権した議員を指している。本来は議員である限り、議案に対して賛否の態度を明確にする責任があるはずだが、これまでの慣行では概ね、同一会派内で賛否の結論が異なった際に一部議員が棄権して申し合わせとの“つじつま”を合わせる人が多い。

今回の請願審議でも延べ3つの請願採決に際してそれぞれ1名、延べ3名の棄権（採決時退場）があった。工場緑地面積率緩和を要請する請願採決時に棄権した丸谷議員は、所属する未来明石の他の2名が賛成したことから棄権し、核禁条約署名を求める2件の請願ではフォーラム明石の宮坂議員が請願に「賛成」した同僚の吉田議員との“整合”を保つ？ために棄権したとみられる。

明石市議会の会派は、政党所属議員（共産党、公明党公認）以外は選挙後の会派を市議選挙時に明示しておらず、会派は当選後に構成され、場合によっては任期中に会派や所属が変転する議員も少なくない。選挙では議員個々が支持者によって選ばれているのだから、議決に際して会派による拘束をするのは違法行為のそしりを受けかねない。全国的にも議決に際して会派拘束している事例はほとんどなく、だから、明石市議会も議会運営委員会の「申し合わせ事項」という形で“会派縛り”を行っている。

個々の議員はそんな違法すれすれの申し合わせに拘束されることはないのだが、議会内の多数派会派から何かと嫌がらせを受けることを避けるために「棄権」が恒常的に行われている。

今回の請願採決で、もう一つ奇妙なのは、少人数学級の推進を求める2件の請願の一方は全員一致で採択されたが、一方は不採択になったことだ。採択されたのは教職員組合から提出されたもので、不採択になったのは新日本婦人の会から出されたものだ。請願趣旨の文言は異なるものの、いずれも国への意見書提出を求めたものなので、市議会が請願趣旨を汲み取った意見書を国へ提出すれば請願は2件とも趣旨は活かされることになる。

請願は多様な立場を持つ市民が市議会に「政策提案」するものだから、その趣旨を議会がどう活かしていくかが問われるところだろう。

市民自治あかしは過去13回にわたって議会改革に関する請願を出してきたが、どう見ても反対の余地が乏しい請願に対しても理由にならない理由を付けたり、明確な理由を提示しないまま多数派議員の反対で採択に反対されてきた経験がある。

今回の議会でも圧倒的多数の反対で不採択になった請願は4件とも、共産党の支持組織と言われる団体から提出されたもので、共産党議員の単独紹介による請願だった。請願の中身の審議がほとんど行われないうまま賛成少数で不採択になっている。「議会は、請願及び陳情を市民による政策提案と位置付け、適切かつ誠実に取り扱う」（第5条）規定との整合性が疑わしい。

市民の提案が議場で堂々と議論される議会風土が明石市議会に生まれるのは、いつのことか。

2020/12議会 請願9件の審査結果 2020/12/22

| No | 号 | 請願項目 | 請願者 | 紹介議員 | 自民党 真誠会 | 公明 | 維新 | 未来 | 共産 | フォーラム | かが やき | スマイ ル | 賛成 | 反対 | 採否 |
|----|----|-------------------|----------|-------------|------------|----|----|-----|----|-------|----------|----------|----|----|-----|
| 1 | 7 | 教職員の定数改善、少人数学級推進 | 市教組 | 竹内、出雲、辻本、吉田 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 29 | 0 | 採択 |
| 2 | 9 | 精神保健医療福祉の改善 | 明石ともしび会 | 全会派 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 29 | 0 | 採択 |
| 3 | 6 | 工場緑地面積率の緩和 | 商工会議所 | 三好、梅田 | ○ | ○ | ○ | ○△1 | × | ○ | ○ | ○ | 26 | 2 | 採択 |
| 4 | 13 | SDGsで持続可能なまちづくり推進 | 地球love明石 | 自民と維新除く全会派 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 19 | 10 | 採択 |
| 5 | 12 | 長期総合計画策定に市民参画重視 | 市民自治あかし | 出雲、辻本、林丸美 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 12 | 17 | 不採択 |
| 6 | 5 | 再審法改正を求める意見書提出 | 国民救援会 | 辻本 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | 6 | 23 | 不採択 |
| 7 | 8 | 少人数学級の実現 | 新日本婦人の会 | 楠本 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | 6 | 23 | 不採択 |
| 8 | 10 | 核兵器禁止条約の署名・批准 | 原水協明石 | 辻本 | × | × | × | × | ○ | ○△1 | ○ | × | 5 | 23 | 不採択 |
| 9 | 11 | 核兵器禁止条約の調印 | 新日本婦人の会 | 楠本 | × | × | × | × | ○ | ○△1 | ○ | × | 5 | 23 | 不採択 |

「号」は議案番号

△棄権
丸谷

△棄権
宮坂